

京築エアフェスタ 概要提案書



京築エアフェスタ実行委員会

実行委員長：森下正志

はじめに

地域おこしとは、地域（地方）が、経済力や人々の意欲を（再び）向上させたり、人口を維持したり（再び）増やしたりするために行う諸活動のことです。地域活性化、地域振興、地域づくりとも呼ばれます。出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』

この地域おこしへの取組みとして地域ごとに様々なイベント行事が行われていますが、その地域の人が集まるような中小規模のイベントがほとんどで、地域外からの人が実施地域へ出向き、お金を落としてもらえようような大規模で集客性の高いイベントはあるでしょうか？

例えば「佐賀国際バルーンフェスタ」は今でこそ100機を超す気球と80万人～100万人という観客が集まりますが、前身となった甘木市での『バルーンフェスタ・イン九州』ではたった5機の気球からスタートだったそうです。

そのきっかけの一つとして今回提案する「民間曲技飛行チームの誘致」が地域おこしの一役を担ってくれると考え、年々発展するイベントになる可能性は十分にあると思います。

目的

京築地区における地域おこしの一環として低予算かつ集客率の良いイベントを行います。

昨今、花火大会等は規制が厳しく開催が難しいものとなっています。それにより予算も膨らみ行政や協賛企業等の負担も増えていますが、開催を望む声も多いのは事実です。



その花火大会等に代わるような、多くの人を楽しめるイベントを開催することは大変意義のあることと考えます。

そのため京築地区全体で活気溢れるイベントを官民一体となり実現し、地域のつながりや、京築地区の認知度の向上や活性化につなげたいと思います。

概要



エアショーをメインとした大規模イベント。近隣に北九州空港が存在することを活かし、ウィスキーパパ競技曲技飛行チーム、曲技飛行チームギオンを誘致します。

『ウィスキーパパ競技曲技飛行チームは、世界選手権日本代表チームが母体となり、日本人初で唯一、FAA(米連邦航空局)のエアショーライセンス最高位の無制限クラスを保有するパイロット、内海 昌浩が率いる競技曲技飛行チーム』

エアショーで有名なのは自衛隊主催の航空祭ですが、航空祭は航空ファンだけでなく家族連れやご年配の方など、幅広い客層が楽しめるイベントです。その来場者は近隣の築城基地で5万人～6万人にのぼります。

自衛隊主催の航空祭では自衛隊保有の航空機がメインですが、エアフェスは自衛隊以外の航空機がメインとなるイベントとなるので、航空祭とは差別化が図れます。

また、地上のメイン会場で開催地域の特色を活かしたステージイベント（バンド等もいいが、神楽やその地域の著名人によるトークショー等も良い!）や出店イベント等（特産品直売やジビエ料理、海鮮もの、更にはラーメンフェスタ等との共同開催）も同時開催すれば終日楽しめるイベントとなり、さらなる集客も図れます。

集客が見込めるイベントになれば、民間で航空機を保有する個人や企業からも参加の申し出が増える可能性があります。また警察、消防、海上保安庁も広報活動の一環として結び付けられれば（例えば防災フェア等）保有する航空機を飛行、展示してもらえる可能性もあります。

そのイベントを京築地区内の市町で毎年移動開催すれば、費用や人員の負担も減り、また「移動する大規模イベント」としての話題性もあります。離発着は新北九州空港を利用出来るので、京築地区内であればどこでも可能です（ただし、大多数の観客が入り、空が見わたせる空間が必要）

最後に

まだまだ改善の余地はたくさんありますが、これを軸にこの京築地区を本気で盛り上げていきたいという自治体と一緒に協力し合って作り上げていきたいと思っています!! 是非ともご協力をお願い致します!!

